

## 平成31年度長野県立信州医療センターの取り組みのご案内

長野県立信州医療センター 院長 寺田 克



須高地区の皆さまには、日頃より当院の運営にご支援・ご協力いただき、有り難うございます。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。院外広報誌「かがやき 第9号」をお届けいたします。

平成31年度は県立病院機構第2期中期計画の最終年度にあたり、当院では以下の事業を予定しています。

①東棟の機能を活用した対策型胃内視鏡検診が昨年より始まったのを受け、医師会・市町村との連携をさらに推進し、早期発見、早期治療に努めます。また、大腸内視鏡検診の実施など、健康診断・増進などに関わる診療の強化を行います。②昨年末に産婦人科・小児科病棟において一部の病室の個室化を行うなど、内装の改修を含めた入院環境の整備を行いました。分娩を含め、地域の皆さんに積極的にご利用いただけるよう、ご案内に努めます。③地域包括ケア病棟を増床(3床)し、「在宅医療安心ネット」の後方支援病院として、亜急性期やレスパイト患者さんの積極的な受け入れを継続するとともに、冬場の病床利用率の高い時期に入院制限がかからないように努めます。また合わせて内装の改修を検討いたします。④昨年設置した「入退院支援室」では、多職種連携のもとで入院時から退院後の療養環境までを見据えた支援を行っています。現在部分的な運用となっておりますが、今後積極的にご利用いただけるよう努めます。⑤「感染症センター」では、感染症に関する専門医療の提供を継続するとともに、県内感染症拠点病院として、医療職者や介護従事者の方々に対する教育研修や感染症に関する積極的な情報発信を行います。⑥県立こども病院と連携し、小児の発達評価を行うとともに、小児リハビリの充実を図ります。

それ以外にも取り組んでいく幾つかの事業があります。今後も院外広報誌やホームページなどを通じてご案内させていただきます。

さて、今年は30年続いた平成も4月には新元号が発表されます。この間公立病院にあつては、二度の公立病院改革ガイドラインや地域包括ケアシステム構築に向けての様々な政策が出され、医療介護総合確保推進法の制定や地域医療構想のもとに、病院の再編と統廃合の促進、急性期・慢性期病床の削減と回復期病床への転換が求められてきました。特に後半の15年あまりで、公立病院の数は、全国でおよそ15%が閉鎖や統廃合、あるいは診療所化により削減されました。また、病床数もおよそ10%に当たる2万5千床あまりが削減されました。

当院の場合、地域の皆さまのご支援とご理解のもと、この難局を乗り越えてきました。しかし、今後も「診療報酬改定」による誘導や「働き方改革」、「消費税率の引き上げ」などの政策への対応、また、当地区における人口減少や高齢化による疾病構造の変化への対応など、運営上の様々な検討課題が継続して訪れます。引き続き皆さま益々のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

職員一同、地域の皆さま、県民の皆さまに「安全で質の高い医療サービスの安定的な提供」ができるよう今後も努力してまいります。

### 急募

#### 食事介助ボランティア

病棟での入院患者さんへの食事介助ボランティアを募集しています。活動時間は、朝食時と夕食時の各1時間程度です。詳細は経営企画課ボランティア担当(026-246-5511)までお問い合わせください。

私たちは患者中心のチーム医療を実践し、信頼される病院を目指します。

# がん検診を受けましょう ～当院で実施した対策型検診結果から～

みなさんは、「健診」と「検診」の違いを知っていますか？「健診」は健康診断のことで、健康かどうかをチェックするものです。それに対し、「検診」は特定の病気を早期に発見し、治療することを目的としています。「がん検診」はその代表的なものであり、市町村で実施している住民健診などの「対策型検診」と人間ドックなどの「任意型検診」があります。

須高地域では、今年度から「対策型胃内視鏡検診」が始まり、当院でも多くの皆さんの検診を実施しました。今回は、今年度12月末までに当院で実施した「対策型検診(住民健診)」に注目し、検診の重要性についてお話しいたします。

## 子宮頸がん検診 ～早期発見のために～

### 子宮頸がん(癌)の特徴は

子宮頸癌は膣の奥の子宮の入り口に発生する癌ですが、正常な状態から急に癌になることはありません。まず前癌状態(異型成)になってから進行して初期の癌(上皮内癌)になり、更に進行して子宮頸癌になります。この間に不正性器出血などの症状が現れることはありませんので20歳以後定期的な子宮頸癌検診が重要です。

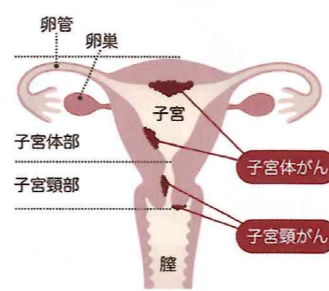
### 子宮頸がん検診とは

がん検診は早期には自覚症状のない癌を早期に発見する効果的な方法だとされています。子宮頸癌検診は子宮頸癌になるかもしれないリスクとなる前癌病変を診断することが可能です。癌になってしまう前から対応できるので子宮頸癌で生命をおびやかされることを防いでくれ、かつ負担の少ない治療で早期の段階で治療できるので妊娠・出産も可能です。

### 子宮頸がん検診の方法は

子宮の入り口をブラシなどでこすって細胞を採取し顕微鏡で調べます。同時に産婦人科医師が視診や内診も行いますので婦人科の他の病気(例えば子宮筋腫や卵巣のう腫など)を発見することもあります。当科では検診時に超音波検査も行いますのでかなり正確な診断を行うことができます。なお、子宮癌のうち子宮の奥に発生する子宮体癌(内膜癌)という別の癌は50歳代以降に多く比較的早期から不正性器出血を起こしますが、通常子宮頸癌検診では見つかりません。不正性器出血の場合には産婦人科を受診することが早期発見のポイントです。

婦人科部長 飯高 雅夫



## 大腸がん、胃がん検診を受けましょう

内視鏡センター長 赤松 泰次

近年わが国の高齢化とともに、がんで亡くなる方が増えています。日本人に多いがんは男女で差があるものの、大腸がんと胃がんは男女を問わず頻度の高い疾病です。自覚症状が出る場合はほとんどが進行癌で、場合によっては手術ができないほど全身に拡がっていることがあります。従って、がんで死なないためには、自覚症状がないうちからがん検診を受けることが大切です。

検診の種類には大きく2つあり、1つは市町村が中心になって行っている「対策型検診」(いわゆる集団検診)、もう1つは人間ドックやかかりつけの医療機関で行う「個別検診」です。対策型検診の目的は「それぞれの疾病における死亡率減少」であり、個別検診の目的は「疾病の早期発見」です。そのため、検診の方法は一般に、対策型検診に比べて個別検診の方がより精密に行われます。例えば大腸がん検診でもっとも精密な検査法は大腸内視鏡検査ですが、時間や費用がかかります。一方、便潜血検査は簡便で費用も安いです。内視鏡治療で治るような初期の病変を発見することは難しいです。しかし、自覚症状がない時期に発見できるので、多少病変が進行していても手術をすればほぼ治療できる段階で発見できます。最近、対策型胃がん検診において従来のX線検診だけでなく、より精度の高い内視鏡検診を選択できるようになりました。個別検診は通常内視鏡で行いますので、同じ精度で早期発見が可能です。

内視鏡は一般に「苦しい」というイメージがありますが、当センターでは静脈麻酔をして眠っているうちに検査を受けることが可能です。



### TOPICS

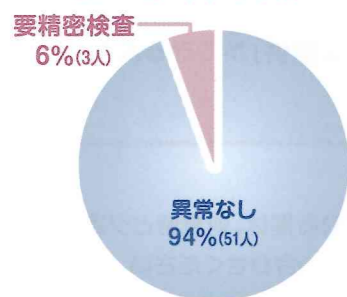
厚労省が全国がん登録データを初めて公表

### 2016年の部位別がん罹患数は、男性は胃、女性は乳房が最多

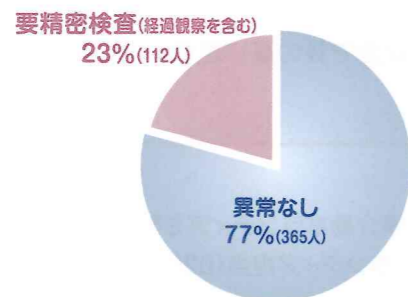
	男性	女性	男女計(性別不詳含む)
1	胃 92,691人(16.4%)	乳房 94,848人(22.1%)	大腸 158,127人(15.9%)
2	前立腺 89,717人(15.8%)	大腸 68,476人(16.0%)	胃 134,650人(13.5%)
3	大腸 89,641人(15.8%)	胃 41,959人(9.8%)	肺 125,454人(12.6%)
4	肺 83,790人(14.8%)	肺 41,634人(9.7%)	乳房 95,525人(9.6%)
5	肝 28,480人(5.0%)	子宮 28,076人(6.6%)	前立腺 89,717人(9.0%)

※データは、厚生労働省「全国がん登録の概要」から抜粋

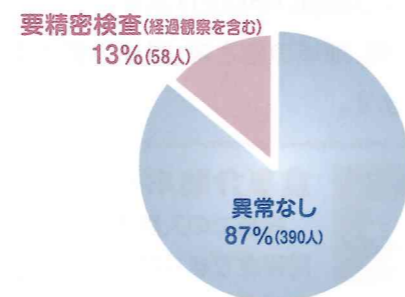
乳がん検診 (マンモグラフィのみ)



子宮がん検診



胃がん検診 (内視鏡のみ)



※上記グラフは、須坂市、小布施町、高山村が行うがん検診の対象者が、市町村が発行する受診券を使用して12月までに当院で検診を行ったものについて集計したものです。

# 平成30年信州医療センターのおもなできごと

## 4月 産婦人科常勤医師1名増員 産科医療がさらに充実しました!

産婦人科に、常勤の女性医師が1名増員となり、産科担当男性医師2名、女性医師2名(うち1名非常勤)、婦人科担当医師1名の5人体制で平成30年度がスタートしました。

## 64のメニューを用意して今年も出前講座を実施しました

地域の皆さんが「自分の健康は自分で守ろう」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を図る目的で、ご要望に応じた内容で毎年3,000人以上の皆さんに聴講いただいています。今年人気のメニューは、性教育や感染症予防、摂食嚥下障害などでした。引き続きお申し込みを受け付けています。

## 7月 対策型胃内視鏡検診が始まりました

須高地区の市町村で対策型胃内視鏡検診が始まり、当院でも多くの皆さんの検査を実施しました。内視鏡検診は、疾病の早期発見に非常に有効です。ご自身の健康のために、ぜひ検診を受けましょう。

※詳しくは、本号「がん検診を受けましょう」をご覧ください。



## 9月 市民公開講座を開催 大腸がんの早期発見の重要性を語る

9月9日(日)に、須坂市文化会館メセナホールにて、須高医師会・薬剤師会との共催で市民公開講座「増えつつある大腸がんの検査と治療について」を開催しました。大腸がんの早期発見の重要性やその治療方法について、当院医師2名による講演が行われ、175名の皆さんに聴講いただきました。

来年度の公開講座は、5月に予定しています。



## 9~11月 産婦人科診療に係るハード面を整備 個室が増え快適に

南3階(産科・小児科)病棟を改修しました。かねてよりニーズの高かった個室を増室し、応接家具を設置。広い病室でお見舞いに来た家族とも周りに気兼ねなくゆっくりと過ごせるようになりました。また、授乳室も広く明るいお部屋に移設リニューアル。

また、外来には産婦人科に特化したエコー3台、手術室には4K画像の腹腔鏡手術システムを導入し、ハード面が整備されました。



## 12月 面会・入館ルールを変更 感染対策&防犯強化へ

12月3日から、インフルエンザ等の感染対策及び防犯強化のため、入院患者さんの面会ルールを定めました。

### ■変更事項

- ①平日の面会時間15:00~19:00に
  - ②入院患者さんの面会時にはカードを着用
  - ③警備業務委託により面会受付・巡回を開始
- 引き続き皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



## 12月 働き方改革に向けた取組みを開始しました

厚生労働省より、医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組みが求められている中、当院でも以下のとおり医師をはじめとした病院スタッフの働き方改革の取組みをはじめました。

- ①患者さんやご家族に対する病状説明は、原則平日の8:30～17:15に実施
- ②各種委員会等院内会議は、原則勤務時間内に実施

患者さんへ提供する医療の質や安全を確保する観点からも、医師が疲弊せずに働けるよう、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

### 駐車場リニューアル 駐車券は認証機に通して無料に

駐車場機器の老朽化が進み、機器の不具合や故障が発生していたため、12月20日、タイムズ24の運営による駐車場にリニューアルオープンしました。患者さんやお見舞いの方等については、今までと同様に4時間まで無料でご利用いただけますが、認証機による認証が必要となります。来院の際には、駐車券をご持参の上、院内設置の認証機に必ず通していただきますようお願いいたします。



## 通年 地域のボランティアの皆さんに支えられています

今年も、花壇の手入れや草刈り、花植え作業、病院祭でのもちつき、院内デイのお手伝い、ホスピタルコンサートへの出演など、多くの地域の皆さんの協力をいただきました。今後も、皆さんの温かなお気持ちとともに地域に愛される病院づくりを目指します。



## TOPICS

### ★ 普段は見るできない病院の裏側を見学！ 「親子見学会」を開催しました

11月17日(土)に、須坂中央地域づくり推進委員会・須坂市中央公民館主催の親子見学会が開催され、7家族16名にご参加いただきました。研修センターでは、研修医や医学生が行っている訓練を体験、臨床検査科では、血液とがん細胞を顕微鏡で観察、薬剤科では、患者さんに合った薬づくりを体験しました。体験を終えた子どもたちからは、「(研修センターで体験した内視鏡手術トレーナーについて)画面を見ながら鉗子を操作してリングを掴むのは難しかった」「(薬剤科での薬の分包体験について)普段飲んでいる薬を自分で作ることができて楽しかった」などの感想をいただきました。

今後も、このような見学会を開催し、地域の皆さんが当院を知り、興味を持っていただく機会を作っていきたいと思っております。



### 大型連休中(GW)の診療のお知らせ

新天皇即位日(2019年5月1日)を祝日とする法案の成立により、同年4月27日から5月6日まで10連休となります。長期間の休診により、治療上の障害が生じる患者の発生が予想されるため、当該期間中の**4月30日(火)**及び**5月2日(木)**の2日間を**通常診療日**とします。

また、**6月26日(水)**及び**8月15日(木)**を**休診日**とします。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 公開講座開催のお知らせ

2019年5月25日(土)に、須坂市文化会館メセナホールにて「肺疾患」をテーマにした公開講座を開催します。当院呼吸器・感染症内科、呼吸器外科の医師による講演を予定しています。

皆様のご参加をお待ちしております。詳細は、追ってご案内します。

### Instagramはじめました

信州医療センター公式Instagramを開設しました。産科を中心に当院の情報を随時発信していきます。皆さまのフォローをお待ちしております。



<https://www.instagram.com/shinshumedicalcenter/>

# 長野県立信州医療センター・外来診療担当予定表

○午前の受付時間は8時30分～11時30分(自動受付機は7時30分～)

○午後の受付時間は各診療科、曜日により異なりますので、ご注意ください。

(平成31年2月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	
総合診療科		中村 真一郎 宮島 正行/植原 啓之	小沢 幸恵 小泉 正幸/関 年雅	原田 輝和 貝梅 紘子(1・3・5週) 原田 美貴子(2・4週)	赤松 泰次 木畑 穂	鈴木 一史 岩波 直弥	
内科	呼吸器 感染症	午前	荒木 太亮	山崎 善隆 岩波 直弥	岩波 直弥	山崎 善隆	荒木 太亮(1・3・5週) 久保 恵嗣(2・4週)
		午後	山崎 善隆	荒木 太亮	山崎 善隆		
	消化器内科	午前	下平 和久	赤松 泰次	中村 真一郎	下平 和久	宮島 正行
		午後				植原 啓之	
	循環器	関 年雅 原田 美貴子	丸山 隆久 原田 美貴子(2・4週)	白井 達也 (長野赤十字病院医師)	関 年雅	丸山 隆久	
	血液	貝梅 紘子		小泉 正幸	貝梅 紘子(1・3・5週)	小泉 正幸	
	腎臓		市川 透(1・3・5週) 原田 真(2・4週) (長野赤十字病院医師)				
	糖尿病/生活習慣病	小林 永幸		長澤 武志(終日)	小林 永幸 高山 昇平(終日)	小林 永幸	
	肝臓				山崎 智生(2・4週)		
	漢方(終日)			布施 修 (1・3週)			
	ペースメーカー外来				関 年雅 (13時30分～)		
	ピロリ菌専門外来	赤松 泰次 (13時30分～)					
	嚥下機能評価外来	山崎 善隆(14時～)	山崎 善隆(午前)	山崎 善隆(14時～)	山崎 善隆(午前)		
	フォローアップ外来					須藤 恭弘(14時～)(予約制)	
貧血外来		小泉 正幸(14時～)					
脳神経内科(午後)		小平 農(1・3週)					
海外渡航者外来(午後)		交代制(13時30分～) (1・3週)					
外科 (午前)	1 診	古澤 徳彦	久保 直樹	交代制	久保 直樹	古澤 徳彦	
	2 診	寺田 克	増尾 仁志		寺田 克	増尾 仁志	
血管外科(午前)		上沢 修			上沢 修		
呼吸器外科(午前)			坂口 幸治			坂口 幸治	
禁煙外来(午前)				上沢 修			
形成外科(午後)		高清水 一慶 (14時～16時)(予約制)		白井 エリオ (14時～16時)(予約制)			
整形外科 (午前)	初診	白田 悠 根本 和明	渡邊 憲弥 白田 悠	吉田 和薫 (信大医師)	三井 勝博(下肢) 根本 和明	上原 将志(脊椎)	
	予約	三井 勝博	白田 悠	渡邊 憲弥	三井 勝博 根本 和明	渡邊 憲弥(2・4週) 白田 悠(1・3・5週) 根本 和明(2・4週)	
脳神経外科(午前)		銭坂 英生(1・3・5週)			伊東 清志		
皮膚科(午前)				皆川 茜		小口 真司	
小児科	初診 (午前)	鶴田 悟郎	南 勇樹	南 勇樹(1・3・5週) 鶴田 悟郎(2・4週) 信大医師(交代制)	鶴田 悟郎	南 勇樹	
	予約 (午後)	予防接種(14時～)	乳児健診(14時～)	慢性外来 (14時～)	小児循環器外来(14時～)	予防接種(14時～)	
		慢性外来(16時～)	慢性外来(15時～)		発達・心理外来(初診)・慢性外来(15時～)	慢性外来(16時～)	
産科	午前	南郷 周児	堀田 大輔	南郷 周児	豊田 友子/交代制	堀田 大輔	
	午後	豊田 友子/交代制	産後健診				
婦人科	午前	飯高 雅夫 堀田 大輔	飯高 雅夫 南郷 周児	飯高 雅夫 堀田 大輔	春日 美智子	飯高 雅夫 交代制	
	午後	春日 美智子/交代制	春日 美智子/豊田 友子(交代制)				
泌尿器科	午前	上野 学 (2・4週)	上野 陽子	宮下 大輔			
	午後		上野 陽子 (13時30分～)	上野 陽子 (14時～)			
眼科	午前	山田 哲也	山田 哲也	山田 哲也	手術	山田 哲也	
	午後	山田 哲也 (予約のみ)(13時30分～)	手術	山田 哲也 (検査・予約)(13時30分～)		山田 哲也 (予約)(13時30分～)	
耳鼻咽喉科	午前	清水 勝利	清水 勝利 (新患紹介来院11時まで)	清水 勝利	清水 勝利 (新患紹介来院11時まで)		
	午後			清水 勝利 (14時30分～16時30分)			
麻酔科(ペインクリニック)(午前)		清水 俊行			清水 俊行	清水 俊行	
漢方東洋医学外来(予約制)(午前)			水嶋 文雄				
精神科(午後)					長峯 清英(2・4週)(14時～)		

(診療情報提供書の送付先)長野県立信州医療センター・地域医療福祉連携室 FAX 026-246-5530・TEL 026-246-6577(直)  
外来診療担当表は、内容が変更になる可能性がありますので、当院ホームページ等でご確認ください。